

誰もが安心
して暮らせ
る町づくり
をめざして

名北福祉会 広報誌

2025 1 Jan No.65

みんなの夢

2025年1月1日発行（年3回）

発行所／社会福祉法人名北福祉会

発行人／黒川 富子

〒462-0804 名古屋市北区上飯田南町 5-53 TEL:052-910-3066 FAX:912-5188 HP:<http://meihoku-fukushi.org/>



高齢者施設グループホームめいほくのみなさんと作成しました。

謹んで新春をお祝い申し上げます

理事長 黒川 富子

皆様におかれましては、すこやかに新年をお迎えることとお喜び申し上げます。

そして、名北福祉会にご支援・ご協力を賜り、御礼申し上げます。

「子育てしながら働き続けたい」と願う女性と、それに賛同する多くの地域の人たちの協力で産休明けから預かる名北共同保育所が誕生し、昨年9月に60年を迎えました。

1994年「名北福祉会綱領」を策定し、「平和で誰もがすべて豊かに安心して暮らせる地域づくり」が名北福祉会の基本方針のもと取り組みをすすめてきました。

今、平和が脅かされ、権利としての社会福祉も自助、共助が叫ばれ、社会保障費など公的制度削減され大変厳しい状況になっています。

これからも、これまで支えてきてくださった多くの人たちと協力し支え合い「独りぼっちを作らない」地域づくりをめざしていきます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

障がい部



めいほく共同作業所

さつまいも収穫！

2年目を迎えた畑。5月に関係者で集まり今年もさつまいもを育てることを話し合いました。昨年の経験を活かし、効率よくかつ元気なさつまいもを育てるべくみなで意見を出し合いました。日中4施設に情報を共有し肥料散布や畝づくり、植え付け水やり草むし



り：とたくさんの工程がある中、2事業所合同で畑の整備を頑張った日もありました。

厳しい暑さが続いた夏、なかなか気温が下がらない日々でしたが収穫時期も配慮し11月末にようやく収穫することができました。昨年よりも立派な美味しそうなさつまいもです。仲間も楽しく参加することができました。さつまいもは、スイーツにして販売しました。

めいほく鳩岡の家

チームで支える

職員集団づくり

仲間の願いや想い、障がいは、1人1人に個性があり、1対1で付く職員の悩みは特に他から見え難いことがあります。「どんな想いで活動に参加しているんだろう」「何が気になって集中できていないんだろう」など仲間を



援助していくのに、試行錯誤しています。鳩岡ではベテランが安心できる環境を整え、中堅の職員に

みをいかに引き出し活かす工夫を職員は日々考えています。創作ではペン・筆の持ち手の形状の工夫、姿勢はもちろん手の動かせる範囲を考慮したテーブルの位置など、なかまと相談しています。

園芸の活動では、たくさんの野菜を育てます。収穫時期には、野菜に紐を結びなかまが紐を引っ張ったり、車いすを降り直接プランターの中に手を入れ土や野菜の感触を感じながらそれぞれの方法で収穫しています。

なかまの強みを活かすための工夫と共に、職員が先に動くのではなくなかまの動きを待つことも大事にしています。

めいほく友の家

なかまの強みを最大限に活かせる工夫と環境作り

めいほく友の家は、障害の重いなかまたちが日中活動をされている施設です。そのため、それぞれの活動で、なかま一人ひとりの強





ゼントして
います。満
足気な顔が
みられると
一緒にい
る皆さんも
ハッピーな
気分になっ
ています。

なかまや職員への、感染症への対応ができるようになり、2024年はホームでのイベントを再開しました。夏は、ピロティ―でバーベキューをしました。いろんな種類のお肉をジュージュー焼いて香りや味を堪能しました。また、お誕生日企画もしています。お誕生日の日には、ホームの夕食ではなく、自分でネットやお店で選んだ食事やデザートを提供

友の家ホーム

イベント再開！

町北ホームゆうやけ

心地よい暮らしの空間



町北ホームには4つのユニットがあります。各ユニットはリビング・廊下・浴室・トイレ等共有スペースの面積が広く、リビングの窓からは光もよく入り開放的な空間です。仲間のみなさんもそれぞれゆったりと過ごされています。床暖房がユニット内全面に取り付けてあり、寒い季節は足元からポカポカ…。じんわりと暖まって快適です。心も体もほんわかしながら元気に冬を過ごしていけるとよいなと思います。また、歳を重ねてきた仲間のみなさんの変化に合わせて、浴室リフトや手すりの追加設置などをすることができました。心地よく安全に暮らせるよう環境を整えていききたいと思えます。

わくわく安井の家

みんなで楽しめるイベントづくり



現在18名の仲間たちが心も体も元気になるように2・3階に分かれ、音楽などのレク活動に加え、缶つぶし作業を行っています。秋には面白いイベントを各階ごとで行いました。2階は「おしゃれ運動会」、顔にシールを貼るなどおしゃれをしながら、綱引きやせんべいつかみ競争をしました。3階は「わくわくカレー作り」、買い物から食材切りまで仲間たちが主体的に行いました。それぞれ全く違う企画、それでも「おしゃれしたい」「運動会したい」「カレー作りしたい」という仲間たちのねがいから生まれたわくわくするイベントになりました。

めいほくホーム

いつもと違った場所で



めいほくホームは男性の方が入居されているグループホームです。先日、入居者の方、2名と職員と一緒にカラオケに行きました。最初は少し緊張した様子でしたが、マイクを手にとると表情が一変！自信たっぷりに好きな曲を歌い始める姿も見られました。二人で声を合わせて歌うときもあり、笑顔が溢れていました。歌い終わると拍手と歓声が自然と出て、お互いを称え合う場面も。普段も仲が良く二人ですが、生き生きとする姿を見て、外出の大切さを改めて感じたひとときでした。

のびのびクラブ

キャラクターになりきって

人気な

取り組みは、お友達同士でも手を繋ぐことのできるようになった『散歩』です。球を棒で叩いて割る『ピ



ニャータ』や『小麦粉ねんど』『スライム』などの感覚あそびも人気です。また、みんなで思い切り走ってあそぶ『逃走中』は大人気です。『音楽』の活動では、大きく体を動かしてダンスをしたり歌ったりし、みんなで楽しんでいきます。先日行った『ハロウィンパーティー』では、好きなキャラクターなどのお面をかぶったりお化けになってみんなを驚かせたりして、大盛り上がりでした。

児童発達支援・

放課後等デイサービスのびっし

自分らしい過ごし方

「鬼ごっこしよう!」「工作したい!」「おやつ作り楽しいな!」昨年4月の開所から9カ月がたち子どもたちも増えて元気な声がいっぱい聞こえるようになりました。

障がいのある乳幼児〜小学2年生の子どもたちを対象に、学齢期への大きな転換期を自分らしく安心して過ごせるよう、『切れ目のない楽しい支援』を目指しています。生活と遊びを軸に「やりた



いな」「できた!」を大切にして、将来に向けての生きる力につなげていきます。

「きょうせれん第47回全国大会inしが」を終えて

めいほく共同作業所 藤嶋風花

全体の感想として、レポートには書ききれないほど多くの学びを得ることが出来た2日間でした。

披露した事業所もあり、歌ったり、演奏をした、楽しそうにステージを歩き回り、自分を表現している姿は良いな

と思いました。

今、めいほく共同作業所でも楽しく仲間が過ごしています。来



るのが楽しいと思ってもらえるよう努力していきう、きょうせれん大会で学んだことを生かしながら支援していきたいと思いました。

目を引き作品が多くありましたが、日常を切り取って描いている作品が多く、仲間にとって日常を過ごすことの大切さ、家族と一緒にいることの大切さを感じる瞬間でした。また、バンド演奏を

保育部



めいほく保育園

真剣なまなざしがいっぱい

今年、鮭の解体ショーをやりました。子どもたちは「かわいそう」「スーパーの匂いがある」と様々なことを感じ取っていました。

「ここが頭で、お腹を開くと卵があり、これが内臓、これが心臓で、みんなの体にもあるんだよ。生きていたんだね。大切な命を人



間の私たちはいただいて、体の一部にして元気に大きくなっているんだよ。」と伝えると、子どもたちの表情はとつても真剣でした。その後、給食で出した鮭は一切れも残ってきませんでした。

解体ショーを通して、鮭に限らず、野菜や肉、それに関わる人にも感謝の気持ちをもってもらえたら嬉しいです。

第二めいほく保育園

人形劇「なすみのすもつ」

を観に行つて

子どもたちのキラキラした笑顔と真剣な表情が印象的でした。動きに合わせていろいろな楽器の音が鳴るシーンで、一緒に観ている友だちや、保育士と顔を見合わせて笑っている子や、話がクライマックスに進んでいくにつれて引き込まれていき、真剣な眼差しで観



る子の姿がありました。観ている様子の写真を園内に掲示すると、保護者の方から家庭でも話題になったという声があり、2歳児でも楽しめるということに驚いている方もいました。

子どもたちは、生で劇を観るという貴重な経験ができたのではないかと思います。

めだか保育園

お芋掘り

臼井のおじちゃんの畑でお芋ほりをしました。散歩の時に、畑でツルがグングン大きくなるのを見て、手入れをする臼井さんに「こんなにちほく。早くやりたうい」と

待ちに待っていました。

当日、「お願いしますー」とやる気満々の子どもたち。「両手で優しく掘ったってね」と教えてもらい一人一株を慎重に掘ります。「わあ〜いっぱいつながってる」「みてみてーめつちやでつかいよ。」マイバックに自分で掘った一番大きいお芋と「がんばったね」と更にはいただいた柿を入れて、大切に持って帰りました。「美味しかったね。」みんなが笑顔。親切にしてください。地域の皆さんに感謝です。



くさのみ保育所

神社へのお散歩楽しいね

ひまわりのお部屋の子ども達が伊奴神社にお散歩にでかけました。



くさのみから少し遠いので頻繁に
いけません、時々足を延ばして
出かけているスポットです。まず
は境内のお賽銭箱のそばにある鈴
を順番にガラガラと鳴らしてお参
りをしました。きれいな朱色の鳥
居がずらっと並んでいるトンネル
を行ったり来たり走り回って元氣
いっぱいです。きれいな小石や落
ち葉、枝など拾ってお散歩バック
に詰め込んだり、石碑の後ろにし
ゃがんでかくれんぼをして遊びま
した。お参りに来ている地域の
方々にも声をかけていただき「ば
いばい」と手を振る子ども達です。
とても温かい気持ちになりました。

めいほくつぼみ保育室

ままごとあそび人気です

室内遊びで一番人気は「ままごと遊び」です。お弁当の日を再現して弁当箱に食べ物を詰め、手提げカバンに入れて「いってきま〜す」のやりとりを楽しみます。また、フェルトで作ったトマトやハンバーグなどを鍋に入れて作った料理を「お待たせしました〜」と友だちに手渡し、1歳児の子がお客さんで2歳児の子がお店の入です。「パパのレストランみたいだ



ね」と保育士が声をかけるとうれしそうで遊びが盛り上がりつづいていました。友だちと関係性も膨らんで元氣いっぱいの子どもたちです。

なえしろ保育園

子育て支援センター

「パパと遊ぼう」を開催

パパの育児休暇が浸透してきたこともあり、パパ一人でも支援センターへ遊びに来る姿が見られます。パパの交流の場について「あったらいいみたい！平日は難しいですが…」との声をきっかけに、昨年度から『パパと遊ぼう』と題して、不定期ですが土曜日に開催しています。

当日、ふれあいあそび等後は、『パパートーク』です。パパのキャンプ好きの話や動物園デビュー、おでかけスポットなどの話が出ていました。我が子の遊ぶ姿を見て知らなかった一面をみることで、き楽しかったとの感想がだされてきました。



やだ保育園

親子で遊ぼうかい

今年も、10月の終わりに木ヶ崎公園で「親子で遊ぼう会」を行いました。触れ合いながら子どもも大人も体を動かして一緒に楽しむひと時。前半は1、2歳、後半は3、4、5歳の2部企画。日頃楽しんでる遊びをモチーフにした

保育署名のご協力
ありがとうございました

「すべての子どもによりよい保育を！11・4大集会」が開催されました。全国から、保育者や保護者、子どもも含めて1800人が集まりました。

「子どもたちにもう一人



引き続きとりくみます。

ことを確認しました。署名は

2024年11月4日、東京・日比谷野外音楽堂にて、

「保育士を」の運動によって2024年4月より配置基準は、4・5歳児30対1から25対1に改善されましたがまだまだです。



親子競技がメインです。幼児のオプニングは『難・昆虫太極拳』

の体操。8種類の昆虫に扮したお母さん・お父さんが昆虫の体操のお師匠さんになり、子どもたちも大はりきり、アットホームな一体感につつまれたひと時でした。いつもと違う雰囲気、お父さんお母さんにしがみついて一緒にゴールインです。OBの1年生が参加のしつぽとりでは、懐かしい大好きな1年生につけたしつぽ追って、思い切り走る園児たち。大人も子どもも「アー楽しかった」と秋の締めくくりになりました。

第56回全国保育団体合同研究集会 in 熊本

「つながり、ふみだし、つくりだそう すべてのこどもの笑顔と平和のために」

保育部から8名の職員が現地参加し、他の職員はオンラインで参加しました。初めて現地参加した職員は、「全国からこんなに大勢の人が集まっていることに驚いた。」「同じ保育に携わる立場の者として誇らしく思った。」「初めて会う他県の方と語り合えてよかった。」など多くの方々とつながりを持てたことが新鮮で嬉しく感じる事ができたようです。

記念講演は、安田菜津紀さんの「ともに生きるとは何か―紛争地、難民、家族の声から考える平和」でした。「単純に戦争をしていないということだけが平和とは限らない。差別や貧困に苦しんでいる人々もいる。自分には関係ないで終わらせず周りの人に伝えたり聞いたり一緒に考えたりすることも平和への一歩になることを学んだ。」との感想がありました。全国の仲間とつながって保育や子育て平和について様々な視点から学びあうことができ有意義な研修になりました。



高齢部

めいほく町南の家

在宅支援で欠かせない訪問

24時間、365日の在宅生活を支える小規模多機能事業所では、通い、泊まりの他に訪問も大切な役割です。独居の方等を通いでない日でも、薬の管理、食べ物の調達、掃除等自宅に訪問しています。馴染みの顔の職員が訪問する



事で、利用者さんも安心した様子。訪問時に鍵や財布等が見つからない時があります。さあ大変！利用者さんは、不安な気持ちになり落ち着きません。そんな時は、一緒に探したり、話を聞いたり、何度も訪問したりしています。受診や床屋、買い物も一緒にいく方もいます。

今年も、今まで暮らしてきた地域の中で自分らしく安心して生活できるように、支援していきたいと思っています。

デイサービス町南

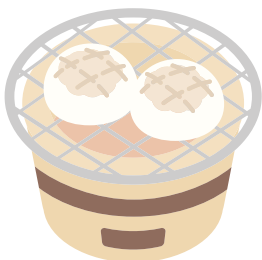
おでかけは楽しい！

午後はみなさんとお出かけすることが多いです。

近くの公園やドームイオンのペットショップ、保育園にお邪魔することもあります。最近のクルマは車で10分ほどの白沢溪谷。



日向ぼっこしながらおやつを食べたり、池をのぞき込むと鯉が近づいてきて、餌をあげると大きな口でパクリ。鳥の声を聴きながら、草花を摘んだり、歌をうたったり、まったりした時間です。なえしろ保育園にお邪魔して、あかちゃんを抱っこさせてもらった男性利用者も。子どもたちの姿にみなさん自然に笑みがこぼれます。



めいほくの家

私の人生は私が決める

開所2年が過ぎ、在宅を支えるとはなんだろう？と話し合う機会が多い1年でした。心配するあまりに消極的な対応になる私たちに、「私の人生なのに、何で私以外の人が決めるの？」と言われて、ハッとしました。自分たちは誰の為に支えるのかを忘れずにいたいのです。

目標にしていた保育園との日常的な交流も、テラスから声が聞ければ話しかけるなど「お隣さん」の関係を築いています。地域の方の「お隣さん」になれるようなかわりを持ちたいと思います。





名北福祉社会高齢部の事業所となり、あつという間に2年になろうとしています。合併後の課題も含め、少しでも解決できるような努力したいと思います。

利用者さんとの毎日を大切に過ごすのももちろんですが、地域サロン“ほのか”を再開してきました。地域の方々にデイサービスへいわのよさを伝えていきたいです。

デイサービスへいわ

新年の抱負



グループホームが開所し、2度目のお正月を迎えます。

「もつすぐお正月だよ。一年たつのはあつという間だね」と利用者さんと話しています。夏には町内会のお祭りにみんなで開催し、太鼓をたたかせてもらった方はすつかり太鼓の魅力に取りつかれ、敬老会や秋まつりでも楽しまれています。みんなで作った作品を茶食ぼちぼちに飾らせてもらい、お茶を飲みに行くのも楽しみのひとつ。自宅からホームに生活の場を移しても、「お父さんが待ってるから、家に帰らんといいかん」

グループホームめいほく

2回目の正月を迎えて

“21・老福連” 職員研究交流集会 in 大阪に参加して

「ここは良いところだけど、そろそろ帰ろうかな」と家に帰りたくてソワソワする人もいますが、やりたいことをたくさん見つけ楽しい一年を過ごしたいと思います。

初めて21・老福連の研修に参加させて頂きました。

全体会の話の中で居場所の機能についての話があり、「来たいから来ている」という場所にした」という言葉がありとても大切な事だと感じました。強制的に行かせられているものではなく、デイサービス町南が楽しい場所と思ってもらえるような場所にしていききたいと思いました。

分科会での他法人職員との交流では、悩み・課題は同じ



よいなものが多く、共感し合える事も多くとても良い時間を過ごす事が出来ました。

デイサービス町南 寺島 健太

※ 21・老福連 = 21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会



地域生活部



居宅介護支援事業所

ケアプラン町南

○大切にしていること

本人の尊厳を尊重し、住み慣れた地域でできるだけ暮らし続けられることをめざしています。また生活全般を支える体制を整え、自立支援を実現することを目標に、ご本人、ご家族の気持ちに寄り添い丁寧な支援を行うことを大切にしています。



○取り組んでいること

ケアマネジャーは本人・家族にとつて、思いを聞いてくれる、知ってくれる、引き出してくれる存在になります。訪問時には、本人が困っていたり課題と感じていることに対して、普段の何気ない会話の中から拾い上げて、その人らしさを引き出せるよう取り組んでいます。

ヘルパーステーションそら

○大切にしていること

権利としての福祉を守り、不正・虐待防止・ハラスメント防止など法令順守に努めています。

○取り組んでいること

在宅を支える要であるという気構えを持ち続け、専門知識・経験・柔軟性を積み、運営は業務改善・ICT導入、未取得の加算取得を



○紹介したいこと

ヘルパー資格取得の資金援助・就業準備資金援助、また、ヘルパー人財を紹介した方と就職された方へ就職祝金・紹介料制度もあります。

相談支援センターめいぼく

○大切にしていること

人としての尊厳、権利を堅持し、公平・中立な立場で障害のある当

○取り組んでいること

事業者、家族の最善の利益を守ることを最優先して計画相談・モニタリング・基本相談に努めています。

チームで共有し、法人内外の関係機関と連携、協力して利用当事者の願いに基づき生活向上を目指しています。障害当事者、家族、障害福祉サービス事業所、地域内の連携機関から信頼される相談支援センターを目指して専門性向上に努めています。

ほっとできるひとときを

認知症カフェ ぼちぼちカフェ

開催日：毎月第3火曜日

時間：14:00～15:00

場所：茶食ぼちぼち

☆みなさんがやりたい事など参加者の声で運営しています。

※介護保険や健康のことなどご相談ください。

問い合わせ：法人本部 TEL 052-910-3066



オンラインで奥田知志氏を招いて
4年ぶりの法人公開講座の開催

11月29日 (金)

第1回めいほく守山まつりを開催
場所はのびのびクラブ前

11月24日 (日)

法人の全職員研修も兼ねて行い、参加者は150人を超えました。「闇バイト」問題から見える今の貧困や、助けてと言えない若者たちを見つめる視点。失敗させない「ガードレール型」の支援から、失敗する経験を大事にする

「セーフティネット支援」への転換。赤の他人が行う互助会葬。13億円規模の壮大な「希望の街」づくり実践。画面上の見るもの、聞くことすべてが斬新であつという間の2時間でした。今回のお話と、私たちの地域を重ね合わせて、住みよい街づくりにつながるとよいです。

奥田知志さん
NPO法人「抱樸」理事長



北九州市東八万キリスト教会の牧師で、生活困窮者や社会で孤立した人たちの生活再建などを伴走支援するNPO法人「抱樸」理事長。全世代型福祉施設の整備を軸にした「希望のまちプロジェクト」をすすめる。

受講者の感想

人のつながり、失敗できる社会、地域の大切さを感じました。
「家はあるのに、帰る場所がない」「誰が私を看取ってくれるのか」「自分が自分をあきらめた時に、誰か自分をあきらめずにいてくれたか」という言葉が衝撃的でした。



名北福祉会が大事にしている地域とのつながりを、事業所数が増えてきた守山区でも進めていこうと開催しました。
「町南まつり」を参考に、守山区に拠点を構える障がい・高齢事業所を中心に行いました。案内をポストに入れたりと宣伝もたくさんおこないました。



当日は、利用者、家族をはじめ職員、OB、地域の方の参加でにぎわいました。企画や模擬店もたのしんでいただけました。「来年もやりたいね」と期待の声が出ていました。

きょうされん 第48次

全国キャンペーン

国会請願署名・募金運動

えりべん くらしま

はかりまえに はかりき

2024 12月

2025 04月

障害者権利条約を地域のすみずみに
障害のある人たちを支える
制度づくりのための
署名・募金にご協力ください



落合 恵子 稲葉 翔 竹下 優子

わたしたちも応援しています

▲でらしひらと(扶老連)への送付

●お名前(姓・名) 郵便番号

〒

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 社会福祉法人名北福祉会
TEL:03(592)2222 FAX:03(592)2229 Email:senkou@senkou.or.jp

介護保険制度改善の署名に
ご協力ください!!

STOP! 介護崩壊

介護保険 このままでは持続「不」可能な制度に!

【保険あって介護なし! 必要なサービスを利用できない!】
軽度介護の増加で、「利用できない」「利用できない」介護保険に...

2024年 施設での介護 費用を自己負担に
利用料2割負担の導入
2025年 特待ホームの入居対象を原則介護3以上
要介護者の施設介護・通所介護を保険給付の対象外に
2026年 利用料3割負担の導入...等

2024~26年度の介護保険料は平均月6225円
8000円、9000円を超えた自治体も

高齢者の介護保険料は、介護保険スタート時(2001)の約1.4倍に
年金の伸びが鈍く、介護保険料の支払いが増える

訪問介護の
基本報酬を軒並み引き下げ!

もっとも身近な領域の小規模事業者がつぶれていて、深刻なヘルパー不足と高齢化、ヘルパーの有資格人数率は15割割 このままでは訪問介護が「崩壊」

36.7%が
赤字状態

低く据え置かれた介護報酬
介護事業者の困窮続く

2024年の改定で1.2割のプラス改定実現したが、これでは大規模な給与増給は不可能、物価上昇分(3%前後)もまわらないうちで済まない。

介護現場の人手不足はきわめて深刻
このままでは事業所も、介護保険制度も維持できない

事業しても必要は2割 職員不足で現場利用の増え入れ 9割割、2025年は32万人、2040年は69万人介護職員が不足。

2025年から標準スタート

政府はさらなる制度改悪を計画

- 利用料2割負担の対象拡大
- ケアプランの有料化
- 要介護1・2のサービスを保険給付から外す ...等

権利としての介護保障を実現し、ケアが大切にされる社会へ

署名にご協力ください

国の負担を大幅に増やし、介護保険制度の立て直し、抜本改善を!
訪問介護の介護報酬引き下げ撤回、定率サービスの報酬の底上げを!
[すべて]の介護事業者の給与を早急に全国平均水準に!
[これまでに]実施されているすべての改悪案は撤回を!

名北福祉会を支える会の会員募集 夢のある豊かなまちを共につくりましょう!!

「平和で豊かな住みよい街づくりをすすめて、福祉の充実をめざします」に賛同する人たちの力で、法人が進めている事業や「みんなの夢」をかなえるための施設づくりを応援しています。支える会への加入をよろしくお願いいたします。

会員には、正会員と賛助会員、団体会員があります。

会費 正会員 1ヶ月 1口 500円 (5口以上)
賛助会員 1ヶ年 1口 1000円
団体会員 1ヶ年 1口 5000円

〈振込先〉
郵便振替口座
加入者名 社会福祉法人名北福祉会を支える会
口座番号 00860-8-127322



法人60周年記念誌完成しました。

法人50周年から60周年までの10年間の取り組みを中心にまとめました。

ご希望の方はお知らせください。郵送いたします。

(1,000円のご協力をお願いいたします。)

法人本部 (052-910-3066) まで。

